



発行
西郷町城北町
隠岐病院長



副院長雑感



隠岐病院副院長

清原芳郎

平成十年春より、内科医として隠岐病院に勤務しています。昭和五十六年に医師となり、早十八年が過ぎました。隠岐病院への勤務は、縁あって今回で三回目となります。この島後にて医療の研鑽を積ませていただいたと言ってもよく、大変感謝しています。十五年前に最初に赴任した当時と比べますと、隠岐病院も医療体制が充実し、人口比からみても他にひけをとらない状況となりましたが、離島であるという現実、特に他

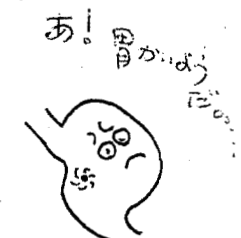
の医療機関との連携という面で困難を伴っています。ただ、通信手段の発達や超高速船の就航、また緊急患者輸送においては、防災ヘリコプターの利用も可能となっており、次第にその格差は埋まってきています。世の中の急速な変化の中で、医療あるいはそれをとりまく環境も例外ではありません。医療技術の進歩にはめざましいものがあります。と同時に高齢化社会となった現状で、地域医療は財政的な破局で困難な



状況となつています。また、医療単独では十分な機能を果たし得ない状況となつています。

保健、福祉との連携が必要で、また、限られた資源の中で、より効率的なサービスを提供するために努力されているところです。近代化の中で一見、物質的な豊かさを得たような錯覚を持ちますが、単なる変化にすぎなかったようです。基本的な社会基盤整備の遅れ、環境悪化など、問題は山積しています。それは高齢者福祉にも陰を落としているかもしれません。家族家庭の役割が変わり、高齢者を支える単位が家族ではなくなりつつあります。社会構造の変化によるところが大きいのでしょうか、次世代には、そこにある家族間の葛藤を見ることなく、単なる当然の現象としか写らないかもしれません。逆説的に言えば、世代間の関係が表面上本来の姿に戻ったともとれますが、果たして前世代より受けとるべきものを受け取り、それを次世代に確実に伝えていくかどうかはきわめて疑わしいと思います。話がややそれましたが、自宅介護、施設介護を問わず、量ではなく質を問題にする段階となつてい

ます。限られた財源の内、どういう医療や福祉を受けるかは、住民の方々の強い意志で創意工夫して初めて成り立つものと思




この十数年、島根県内ではありますが、西の端から中国山脈の中まで各地を転動してまいりました。狭いようですが言語風習がそれぞれ違い、それが良い思い出となつています。生活環境、そしてそこに生活する人々の多様性にも心を動かされるものがあります。世界に目を転じれば、民族紛争、宗教紛争が絶えることがありません。紛争の真の原因が民族、宗教の違いそのものでないことを願うばかりです。生きていく上で、多様性ということに寛容でなければ、感動もないものと思えます。今後とも、個人個人に最適な医療を提供したいと考えておりますのでよろしく願います。



これが
知りたい！

請求領収書のみかた

病院の会計窓口で支払って頂く医療費の請求書の中には、沢山の項目があります。今回は、普段何気なく支払っている医療費の内容について説明させていただきますので、ご参考ください。

請求領収書		隠岐郡西郷町大字城北町355番地 島後町村組合立	
(入院・外来)		隠岐病院 	
氏名	隠岐 太郎 殿	平成	11年 6月 25日
患者番号	2	診療科	整形外科
		負担割合	30%
		請求No.	0538
請求期間	月 日 ~ 月 日	保険種別	02
欠損補綴料 歯科その他			
	保険適用	保険適用外	
診察料	300円		
投薬料	600円	540円	
注射料	450円		
処置料	120円		
手術料	4500円		
検査料	6000円	430円	
レントゲン料	450円		
理学療法・その他	660円		
入院料			
合計	13080円	970円	
室料差額			一部負担金
文書料	4200円		公費一部負担金
分娩料			
入院雑費			新生児雑費
診療材料	500円		食事療養費
電気・その他	1200円		薬剤負担金
病衣貸与			420円
総計	5900円		総計
合計請求額		20370円	
◎消費税額 ¥		330円を含む。	
○なお、前回までの未収が 2700円あります。			
負担金額の10円未満の端数については、四捨五入しています。			
なお、この領収書の再発行は致しかねますので、大切に保管して下さい。			
どうぞ、お大事に。			

- 診察料**～医師による診察・指導に対するの料金（注意；投薬のみでもかかります）
- 投薬料**～投薬がある場合のお薬代（調剤料・処方料などを含む）
- 注射料**～手技料・注射薬剤の料金
- 処置料**～ガーゼ交換や抜糸などの処置料金
- 手術料**～手術をした場合の料金
- 検査料**～血液検査（採血料含む）・胃カメラなどの料金（採尿・採血からいろいろな検査をすると高額になります）
- レントゲン料**～レントゲン撮影・MRI・CT・透視などの料金
- 理学療法・その他**～リハビリ料金や他院への紹介状（情報提供料）
- 入院料**～入院した場合1日～いくら
- 室料差額**～入院時、個室に入った時に一般病室との差額料金
- 文書料**～入院・通院証明書や年金診断書などの文書料
- 分娩料**～分娩にかかる費用
- 診療材料**～ホータイやサポーター・松葉杖の使用料などの材料費
- 電気・その他**～使用料などの料金
- 病衣貸与**～入院中に病衣を使用した場合の料金

※ご不明な点は、医事課受付係、または会計窓口でお尋ね下さい。

梅雨に入り、「ジメジメしてきたなあー」と、重苦しい気持ちで、毎日を過ごしている皆様、今回は、雨上がりのカラッととした、空のように爽やかな私たちが内科外来スタッフを紹介いたします。スタッフは、院長先生をはじめ先生方が六名、幅広い年齢層の看護婦七名(心は二十歳)。でも、顔とシワは年相応と思われる看護婦数名を含む。そして、事務員一名の計十四名で、毎日頑張っています。

朝八時三〇分「おはようございます。内科の受付を始めます。」爽やか事務員の元気な声で一日が始まります。窓口を開けると、「薬の受付をしたけどどこにおればいいのかい?」「予約表は、どげすらいいの?」「診察券はだすだけ?」「今日は検査だいど、ここにださいいかい?」など、次から次へと質問の嵐、カルテも山ほど運ばれ騒然としています。そんな中で、一人一人の患者さんに優しく接しながら、事

職場紹介

内科・内視鏡の巻

務員は、カルテをさばいていきます。処置室では、大腸カメラの前処置中の患者さんが、二ルもある薬を飲みながら、「ビールなら何ぼでも飲めるになあ。」と、笑いを誘うシーンもあります。



各診察室では定期的診察を終えてホッとする人、肩を落としながら帰る人、先生に怒られる人や褒められる人など、様々です。色々な患者さんを見ながら私たちが爽やか看護婦は、短い時

間を見つけて生活指導をしたり励ましたり、1kg体重が減れば一緒に喜んだり、病気について一緒に勉強しています。隣の内視鏡室では、ベテラン爽やか看護婦と、新人爽やか看護婦が、先生と絶妙なコンビネーションで胃カメラの検査を行なっています。昼十二時、患者さんも、大分減り、診察も終わる頃になり、ホッとするのも束の間、救急車の対応や、急患の対応に追われ、次の日の予約の準備ができる頃には、一日が終わろうとしています。こんな騒々しい私たち内科外来ですが、島民の皆様の健康を守るため、頑張っています。身体に、「なんかおかしいな?」と感じていらっしゃる方は、我慢せず、早めに受診して下さい。爽やか笑顔でお待ちしています。

間を見つけて生活指導をしたり励ましたり、1kg体重が減れば一緒に喜んだり、病気について一緒に勉強しています。隣の内視鏡室では、ベテラン爽やか看護婦と、新人爽やか看護婦が、先生と絶妙なコンビネーションで胃カメラの検査を行なっています。昼十二時、患者さんも、大分減り、診察も終わる頃になり、ホッとするのも束の間、救急車の対応や、急患の対応に追われ、次の日の予約の準備ができる頃には、一日が終わろうとしています。こんな騒々しい私たち内科外来ですが、島民の皆様の健康を守るため、頑張っています。身体に、「なんかおかしいな?」と感じていらっしゃる方は、我慢せず、早めに受診して下さい。爽やか笑顔でお待ちしています。

食事スペース 移動しました

売店横のMRI室入り口に設置してありました外来患者さんの食事スペースを、都合により歯科外来前に移動させていただきました。狭いスペースではありますが、昼食場所や休憩場所にご利用下さいますようお願いいたします。

なお、この場所での喫煙はご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

受たより…一言

毎朝、たくさんのお患者さんが自動受付機の前に並んでおられますが、午前八時の自動受付機稼動時には大変混雑しております。受付機稼動時まで座っているイスの背中には番号がついておりますので番号順に受付機を操作していただきますようお願い申し上げます。



皮膚科の診療について

今までは、週二回火・金曜日の午後診療していましたが、この四月より、次のように変更となっておりますので、ご注意ならびにご確認ください。



☆ 毎週 火曜日
午前九時～
午後二時三十分



火曜日に都合で休診の場合は、金曜日に診療を行います。病院内の掲示、あるいは電話にてご確認ください。

手術室で... いきなり2コマ



by 新人なす

記載記事の訂正!

— その一 —

前号の職員紹介記事の中に産婦人科部長くりおかゆうこ先生と記載されておりましたが、くりおかひろこ先生の間違いでした。



— その二 —

前号の「院内施設にご協力下さい」の記事の中に救急外来入口での受付簿記入時間を、午後七時から午後九時までと記載いたしました。次のように訂正させていただきます。

「受付簿は、午後九時以降に記入してお入りください。」

皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。記事の訂正をさせていただきます。お詫び申し上げます。

(編集部)

異動

退職 — 五月 —
* 桐山 直人 (臨時事務員)

— お疲れさまでした! —



おどろき

先日夏至を過ぎ、暦の上では夏真っ盛りというのに、雨で鬱陶しい日が続きます。でも、その雨に映える紫陽花の美しい色に、心穏やかなときもあります。▼忙しいなかでの、一服の清涼剤私たちも、病む人の一服になれたらいいな。と考えています。▼紫陽花の色は七変化、日によってうつろい、雨の雫のせいか一日のうちでも違うのでは?と思わせます。その変わり身の早さに惑わされることも...。(人の心も同じこと...?)でも、元をたどれば根っこは一つ。▼よい医療を受けたい・提供したい、日が照っても、雨が降っても、夏でも、冬でもその気持ちは一つだと思えます。世相はうつろい、変わっても、根っこは一つ。

雨も滴るいい○○○? M